

世界子供白書 2024

統 計 表

子どものウェルビーイングに関する正確なデータは、政策を策定し、すべての子どもが成長できる世界を実現するための強力なツールである。本書の統計表は、世界の子どもの生存、発達、保護に関する重要な統計値を提供しており、子どもと女性の権利に関する国際的な目標の達成に向けたユニセフの取り組みの進捗状況を見ることができる。

統計表は下記リンクまたは QR コードからアクセスできる：

<https://uniceflink.org/sowcdata24>



データについての一般的留意事項

データの出典

以下の統計表に示したデータは、ユニセフ（国連児童基金）の世界各国のデータベースから取得したものであり、各項目の定義やデータの出典に加えて、必要に応じて脚注が添えられている。指標値の算出にあたっては、複数指數クラスター調査（MICS）や人口保健調査（DHS）など、関係機関による推計値と国別世帯調査を用いた。さまざまな行政機関やその他国連機関によるデータも使用されている。データの出典に関するさらに詳細な情報は各表の末尾に記載した。

それぞれの統計表に記載の人口指標や人口に関連する多くの指標値は、2024年版「世界人口予測（World Population Prospects）」と2018年改訂版「世界都市化予測（World Urbanization Prospects）」（国連経済社会局（DESA）人口部発行）から得た最新の人口推計と将来推計に基づくものである。近年になって人災または天災を被った国は、データの質が低下しやすい。その可能性が特に高いのは、国の基本インフラの破壊や大規模な人口移動が生じた国である。

ユニセフは、自身が行う国際的な世帯調査イニシアティブであるMICSを通して、子どもや女性が置かれた状況を追跡するためのデータを各国が収集し分析することを支援している。1990年半ば以来117を超える国と地域において375件強の調査が実施してきた。MICSは、世界各地の政策とプログラムを形成する主要なデータソースであり、持続可能な開発目標（SDGs）指標の進捗を計測するための主要なデータソースとして機能し続ける。さらに詳細な情報は<https://mics.unicef.org/>を参照のこと。

地域分類別および世界全体の合計値

別途記載のない限り、各指標の地域分類別および世界全体の合計値は、世界人口予測2024年版のデータを用いて人口による重み付けをした平均値に基づき算出された。これは各指標に対象となる年齢層や性別があり、これに従つたものである（例：出生数合計は非加重人口平均に、貧血のある15～49歳の女性の指標は加重平均に基づく）。別途指摘のない限り、地域分類別および世界全体の推計値は、人口に対して少なくとも50%のデータ収集率がある指標に

対してのみ報告されている。

データの細分化

新型コロナウイルス感染症による危機は、女性と子どものパンデミック下での健康および社会経済的な影響を理解するための細分化されたデータの重要性を強調し、長期にわたる構造的な格差と差別を悪化させた。危機を乗り越え、質が高く、比較可能で、タイムリーな細分化データ、および複数の次元における細分化データは、さまざまなタイプの支援の中でも優先グループを特定し、誰ひとり取り残さないという持続可能な開発のための2030アジェンダの任務を遂行するために不可欠である。

細分化データの集約・分析には、世帯調査、人口動態調査、行政記録など、さまざまなデータソースを活用している。紙面の都合上、統計表にこれらのデータを完全には示すことはできないが、性別、年齢、居住地、富の状況など、主要な側面に沿って細分化されたデータを示すよう努めた。ジェンダー平等と女性と女の子のエンパワーメントに対するユニセフの中核的なコミットメントを考慮し、入手可能な場合、統計表では男女別データの提示を優先している。ただし、特定の指標について大多数の国で男の子と女の子の間に統計的に有意な差が見られない場合はこの限りでない。その場合は、男女別データを<https://data.unicef.org/>からオンラインで入手できる。個々の指標の細分化については、統計表の下の脚注を参照のこと。

データの比較可能性

各統計は、国別や経年別にも比較可能となるよう最大限の努力が払われている。しかしながら、国レベルのデータは、データ収集の方法、推計値の算出方法、対象となる人口数などが異なる可能性がある。また、ここに掲載されたデータは、年々進化する手法、時系列データの見直し（例えば、予防接種、妊娠婦死亡率）、そして地域分類の変更などの影響を受けている。さらに、年単位でのデータ比較が可能な指標が得られていないこともある。このため、過去に出版された一連の「世界子供白書」とのデータ比較は推奨されていない。

実施方法に関する追加情報

後続ページに記載された各統計表に記載されているデータには、2024年1月から10月にかけて集約され更新された情報が総じて反映されている。各指標はそれぞれ特定の期間に紐付けられており、これらは各表の下部にある「データの主な出典」内に記載されている。「最終更新」のタイムスタンプは、データが集約され更新された時期を示す。それぞれの個別の題目についての集約と更新は国単位での協議または他機関との連携プロセスの一部として実施

された。

各指標と統計全体の作成についての実施方法の詳細は<<https://data.unicef.org/>>を参照のこと。本表に掲載されている数値は<<https://www.unicef.org/reports/state-of-worlds-children>> <<https://data.unicef.org/>> の2つのウェブサイトで閲覧することができる。最新版のデータのほか、本書出版後の更新情報や正誤表についても、上記のウェブサイトを参照のこと。

子どもの死亡率に関する推計値

5歳未満児死亡率は、子どもの健康とウェルビーイングの改善度合いの測定のための、主要な指標として用いられる。以下は、ユニセフ地域等分類による5歳未満児死亡率と死亡数である。

5歳未満児死亡率(出生1,000人当たりの死亡数)

ユニセフ地域等分類	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2022
東アジア・太平洋諸国	72	62	57	50	40	29	21	17	15	15
ヨーロッパ・中央アジア	43	37	31	28	21	16	12	10	8	7
東ヨーロッパ・中央アジア	65	54	47	45	35	25	18	14	11	11
西ヨーロッパ	16	13	10	8	6	5	4	4	4	4
ラテンアメリカ・カリブ海諸国	85	68	55	43	33	26	23	18	17	16
中東・北アフリカ	125	87	66	54	43	34	27	24	20	19
北アメリカ	15	12	11	9	8	8	7	7	6	6
南アジア	173	151	130	112	94	77	62	49	39	36
サハラ以南のアフリカ	202	190	179	170	151	124	101	86	75	71
東部・南部アフリカ	187	176	163	154	134	106	81	64	54	51
西部・中部アフリカ	217	205	196	187	168	141	120	107	94	89
後発開発途上国	213	195	176	158	135	109	88	73	62	59
世界	118	104	93	87	76	63	51	43	39	37

5歳未満児死亡数(1,000人)

ユニセフ地域等分類	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2022
東アジア・太平洋諸国	2,579	2,371	2,380	1,702	1,243	875	688	538	402	355
ヨーロッパ・中央アジア	563	485	394	310	218	160	133	109	83	75
東ヨーロッパ・中央アジア	466	412	336	269	188	135	110	90	66	59
西ヨーロッパ	97	73	58	40	30	26	23	20	17	17
ラテンアメリカ・カリブ海諸国	955	796	647	505	380	286	245	194	165	152
中東・北アフリカ	929	725	559	439	339	283	256	254	200	186
北アメリカ	56	50	49	40	36	35	32	29	26	25
南アジア	5,705	5,385	4,876	4,303	3,671	3,011	2,369	1,798	1,363	1,243
サハラ以南のアフリカ	3,477	3,731	3,925	4,107	4,022	3,680	3,359	3,126	2,939	2,853
東部・南部アフリカ	1,680	1,818	1,887	1,922	1,821	1,575	1,324	1,128	1,025	990
西部・中部アフリカ	1,796	1,913	2,039	2,185	2,200	2,105	2,035	1,998	1,914	1,863
後発開発途上国	3,724	3,781	3,701	3,600	3,339	2,890	2,517	2,237	2,062	2,001
世界	14,265	13,545	12,832	11,407	9,910	8,332	7,082	6,050	5,179	4,891